Advanced Media

Company Profile

株式会社 アドバンスト・メディア（お問い合わせ）

本社　〒170-6042 東京都豊島区東池袋３-1-1 サンシャイン60 42階　TEL：03-5958-1031（代表）FAX：03-5958-1032

大阪支社　〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-3-11 ダイタイビル５階　TEL：06-6531-9651　FAX：06-6531-9652

名古屋営業所　〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル３０２　TEL：052-559-0087　FAX：052-559-0088

福岡営業所　〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前３-23-12 博多光和ビル２階　TEL：092-482-1570　FAX：092-433-5506

Advanced Media, Inc.

IS 816102

Ver.3.6.3

#音声認識で
つくりたい未来へ

Philosophy

もしも、人とキカイが
自然な会話でつながる未来を
実現できるなら。

AI 音声認識 国内シェアNo.1※の
「AmiVoice®」があれば、
そんな楽しい世界だって、
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、
ワクワクできる未来をあたりまえに。
私たちは、
アドバンスト・メディアです。

AmiVoice®

音声認識
ソリューション

AI
アバター
AOI

AI
アシスタント
AOI

AISH

AI
Super
Humanization

人とAIの優れた点を融合し
サステナブルな社会を
プロデュースして
より良い未来を実現する

アドバンスト・メディアは、
最先端技術を活用したさまざまな
アプリケーションやサービスを
提供するばかりでなく、
それらの利活用スキルをも伝授し
社会のサステナビリティを
プロデュースすることを目指す会社です。

AI は人の仕事を奪うのではなく
相棒となりお互いを高め合う存在です。
人がそのような AI により、
自身、あるいは、属する集団、
そして、社会のサステナビリティを
プロデュースすることで
より良い社会の実現が
可能であると考えています。

HCI

Human
Communication
Integration

「機械」との自然な
コミュニケーションを
実現し
豊かな未来を創造する

私たちアドバンスト・メディアは、
有用な最先端技術を広く社会へ普及させ、
その実用化を通して
既成概念を創造的に破壊し、
全く新しい価値観・文化を
構築することに挑戦してまいります。

人が機械に合わせないと
意思が伝達できない
ハードコミュニケーションの時代を
人が自然に意思を伝えられる
ソフトコミュニケーションの
時代へと変革する。
そして、社会にとって、人にとって、
真に「楽しく」「役に立つ」世界の
実現を目指してまいります。

※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」ソフトウェア / クラウドサービス市場

What's Advanced Media?

プラットフォーマーとして音声認識市場を牽引

自然な発話を高精度でテキスト化する独自の音声認識技術をベースに、
音声認識ソフトウェアおよびクラウドサービス市場シェアNo.1※の地位を確立。
AI 音声認識「AmiVoice」を用いた
ソリューション・プラットフォームの提供を通じて業務効率化や DX を推進。
人とキカイの自然なコミュニケーションを実現し、豊かな未来を創造します。

音声認識研究
29年

前年度売上高
70億円

特許取得数
44件

630社
（97,804 ライセンス）
コンタクトセンター

自治体・民間
計**3,227**施設

議事録・書き起こし

API・開発キット

9,120ユーザー



20,225施設
（69,444ライセンス）
医療

1,161社
モバイル・ビジネス
ソリューション

585社
（90,034 ライセンス）
建築・不動産

製造・物流

6,339
ライセンス

AI音声認識 国内シェア
No.1※

直近３年間の売上成長率
35%超

AIエンジニア（研究職）
51名

（2026 年 6 月時点）

国内音声認識市場のパイオニア

1997年の創業以来、国内初の音声認識専業ベンダーとして
市場を開拓。今後も市場を牽引し、人と AI が共に高めあう
未来の実現を目指します。

国内シェア No.1※ AI音声認識 AmiVoiceの技術力

25 年以上にわたるデータとノウハウを活用した、
高精度な音声認識。確かな技術力をご評価いただき、
豊富な導入実績を誇ります。

幅広い業種に特化した製品ラインアップ

各業界のユーザーの声を徹底的に聞き、２万件以上の導入実績を
持つ製品群。多岐にわたる業種、さまざまなビジネスシーンで
役立つサービスを提供し、業務効率化・DX 推進に貢献します。

「共に育む」社風で生み出す豊かな人材力

リーダーとプレイヤーが業務を通して共に育つことを目指しています。
そして課題発見・解決に特化した営業と、音声認識技術の
プロである開発がワンチームで多彩な解決策を提案します。

※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」ソフトウェア / クラウドサービス市場

What's AmiVoice?

自然な発話に対応できる国内シェアNo.1※の音声認識技術

AmiVoice®

多くの人にとって、最も自然なコミュニケーションの手段は「声」でのやりとり。
声を文字に変換する AI 音声認識により、
キーボード入力やボタン操作などの不自由なコミュニケーションではなく、
人間本位の自由なコミュニケーションを実現します。

いつでも、どこでも、誰でも。
声で書く。声で動かす。人とキカイの自然なコミュニケーションを実現する技術です。

20,000件以上の導入実績

国内音声認識市場のパイオニアとして、
25 年以上にわたり、２万件以上の
利用実績を重ねてきたため、
さまざまなビジネスシーンの音声や
テキストデータを豊富に蓄積しています。

トップクラスの高い認識率

常に最先端の技術を研究し取り入れながら、
最新のディープラーニング技術も実装することで、
業界随一の高い認識率を誇っています。

AmiVoice®

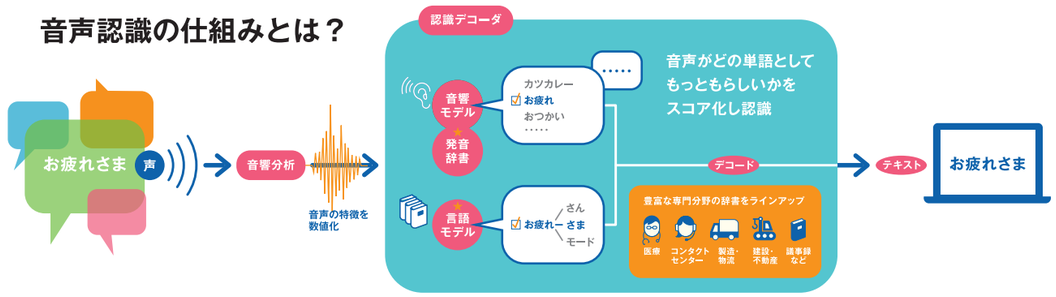
自然な言葉を正しく認識

発話スピードやイントネーション・
アクセントへのフレキシブルな対応が可能。
人間同士の会話と同様に、
自然な発話でも高い認識精度を実現します。

幅広い業種と専門用語に対応

幅広い業種の専門用語に対応する
音声認識エンジン。
個別カスタマイズも可能です。

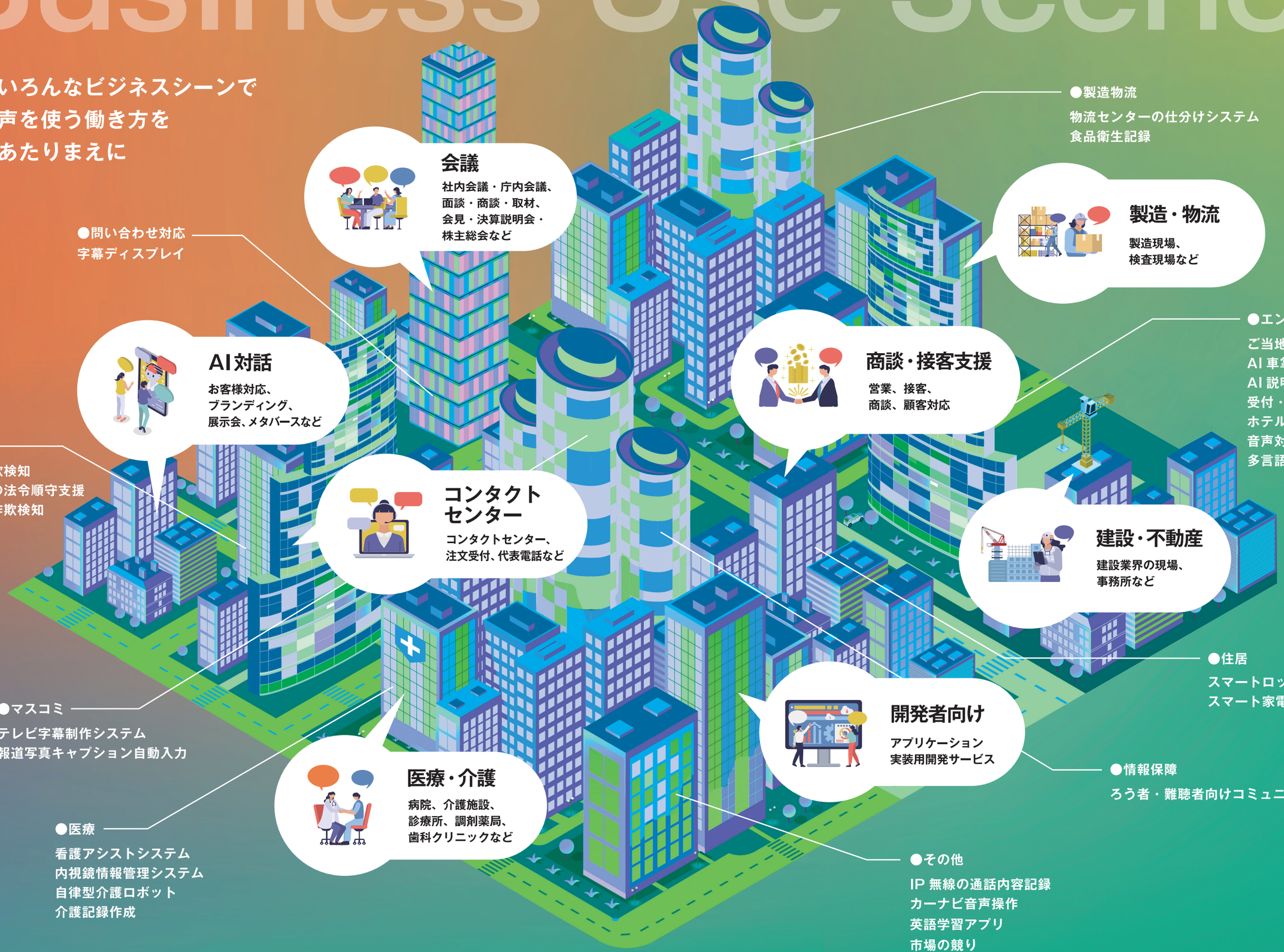
音声認識の仕組みとは？



※上図は「ハイブリッド型」の音声認識システム。その他に、音響モデル・発音辞書・言語モデルの働きを単一のモデルが担うことで認識精度・速度の向上が期待される「End-to-End 型」も開発。

Business Use Scenes

いろんなビジネスシーンで
声を使う働き方を
あたりまえに



会議

社内会議・庁内会議、
面談・商談・取材、
会見・決算説明会・
株主総会など

製造・物流

製造現場、
検査現場など

AI対話

お客様対応、
ブランディング、
展示会、メタバースなど

商談・接客支援

営業、接客、
商談、顧客対応

コンタクトセンター

コンタクトセンター、
注文受付、代表電話など

建設・不動産

建設業界の現場、
事務所など

開発者向け

アプリケーション
実装用開発サービス

医療・介護

病院、介護施設、
診療所、調剤薬局、
歯科クリニックなど

●製造物流

物流センターの仕分けシステム
食品衛生記録

●問い合わせ対応

字幕ディスプレイ

●エンタメ

ご当地 AI キャラクター
AI 車掌
AI 説明員・販売員
受付・案内ロボット
ホテルの客室ロボット
音声対話ロボット
多言語観光ガイド

●防犯

還付金詐欺検知
債権回収の法令順守支援
振り込め詐欺検知

●住居

スマートロック
スマート家電

●マスコミ

テレビ字幕制作システム
報道写真キャプション自動入力

●情報保障

ろう者・難聴者向けコミュニケーションアプリ

●医療

看護アシストシステム
内視鏡情報管理システム
自律型介護ロボット
介護記録作成

●その他

IP 無線の通話内容記録
カーナビ音声操作
英語学習アプリ
市場の競り

Product & Services

幅広い業種と専門用語に対応するAmiVoice®だからできること

会議



導入メリット

手間のかかる会議録作成や内容整理・
共有を自動化し、情報伝達のタイムラグも解消。
発言の可視化により、意思決定の根拠を
共有しやすくし、組織全体の生産性を底上げします。

Our Future

AIやキカイ同士が定型的な会議を担い、
単純な意思決定の大半を自動化。人は複雑かつ
創造的な議論や戦略の思索に
専念できる未来を実現します。

ScribeAssist　ProVoXT

AI対話



導入メリット

独自のAI対話技術を用いた自然な
コミュニケーションにより、
24時間365日さまざまな
お客様対応が可能。マルチデバイス対応や、外見を
自由にカスタマイズできるアバターの活用により、
あらゆる顧客対応シーンで活躍します。

Our Future

高いコミュニケーション能力で、人間とAIの
自然な会話を実現。減少する労働人口への対応や、
人ならではの顧客対応に注力できる
環境づくりに貢献します。

AI Avatar AOI

商談・接客支援



導入メリット

ブラックボックス化している商談・
接客内容の可視化により、商談スキルの向上・
リスクの抽出・業務負担の軽減など、
現場課題の解決を図ります。

Our Future

キカイによる商談自動化によって24時間365日の
営業も可能に。営業機会の増加や
データを駆使した商談確率の上昇により、
企業業績の向上に貢献します。

AmiVoice® SalesBoost

製造・物流



導入メリット

製造・物流現場作業におけるハンズフリー・
アイズフリー・ペーパーフリー・
ストレスフリーの実現により、業務効率化・
ミス防止・危険回避を実現します。

Our Future

デジタイゼーションからデジタライゼーション、
そして、デジタルトランスフォーメンションへ。
現場で収集されるさまざまな情報のデータ化と
一元管理、その結果を元にしたビジネスの変革を
支援し、新しい未来を創造します。

AmiVoice® Keyboard

コンタクトセンター



導入メリット

コンタクトセンターにおけるお客様と
オペレーターのコミュニケーションの可視化と
データ活用により、業務効率化・
顧客満足度向上・コスト削減を実現。顧客との
重要なタッチポイントである
コンタクトセンターの価値を最大化します。

Our Future

顧客接点におけるコミュニケーションをテキスト化・
分析し、お客様の性質の把握や潜在的なニーズの
発掘を実現。AIエージェント（自律型AI）との
連携により、より高度な顧客対応が可能に。

AmiVoice® Communication Suite
AmiVoice® ISR Studio

医療



導入メリット

診療科ごとに進化する医療特化型の
音声認識辞書を活用し、医療現場における
さまざまな入力業務の効率化を実現。
近年では蓄積されたデータを利用した
タスクシフトやタスクシェアリングを通じて
労働環境の改善に貢献しています。

Our Future

深刻な医療従事者不足の中、院内のあらゆる
コミュニケーションから集めた患者様の声を活かし
AIが各種業務をサポート。働きがいのある労働環境の
実現と医療サービスの質の向上を目指します。

AmiVoice®Ex7　AmiVoice iNote

建設・不動産



導入メリット

マンションなどの仕上げ検査や
内覧会において、声でのデータ入力をサポート。
専用にチューニングした音声認識エンジンで
高い認識精度を実現します。キーボード操作に比べ
格段に速く、機器操作の苦手な方でも操作が容易。
検査後の協力会社振り分けも自動で瞬時に行うため、
残業時間を大きく削減します。

Our Future

AIと人とのコラボレーションに最適なツールを
取り揃え、建設業界の労働人口減少問題の
解決に貢献します。

AmiVoice® B-Work One
AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム

開発者向け



導入メリット

さまざまな開発要件に最適な音声認識エンジンの
提供により、機械学習の専門知識を有することなく、
高精度・高品質なSpeech to text機能を
お客様のアプリケーションに
連携・実装することが可能になります。

Our Future

いつでもどこでもAmiVoice。
あらゆるサービス提供者・ユーザーの日常や
ビジネスシーンに溶け込み、
誰もが当たり前のように
AmiVoiceを使う社会を実現します。

AmiVoice® API　AmiVoice® SDK

Customer

ユーザー企業

IIJ Global　朝日生命　河口土建　KYOCERA
JAL CARD　SPCC　墨田区　仙台市　SoftBank　第一三共株式会社　第一フロンティア生命　DAIDO 大同生命
TOKYO GAS GROUP　東京建物　LEC東京リーガルマインド　TOYOTA　NAVITIME　日本国土開発株式会社　日本生命　日本赤十字社　日テレ
広島ガス　FUJITSU　FUJIFILM　Bell System24　MIZUHO みずほ証券　三井住友カード　三井住友銀行　MUFG 三菱UFJ銀行

SBI損害保険株式会社　FCNT合同会社　神奈川県警察　ドコモSMTBネット銀行　生和コーポレーション株式会社　株式会社テレビ朝日クリエイト　取手市議会

CozyCorner　SUNTORY　株式会社シムトップス
タリト・建設株式会社　THK　TBS
長谷工コーポレーション　HITACHI Inspire the Next 日立産業制御ソリューションズ　HITACHI Inspire the Next 日立システムズ
LIXIL　りそな銀行　LINK, INC.

風越建設株式会社　北海道警察　三井住友建設株式会社

パートナー企業

CTC　IWATSU　SCSK
NECネッツエスアイ　OKIソフトウェア　OKI　SATO　GENESYS
システムサポート　野村総合研究所　BIPROGY　HOYA　MKI 三井情報　三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

株式会社シムトップス　ソフトバンク株式会社　株式会社テレビ朝日クリエイト　株式会社日立産業制御ソリューションズ
株式会社日立システムズ　富士通株式会社　株式会社ベルシステム24　株式会社リコー　株式会社リンク

History

さらに詳しい沿革をご覧いただけます

AI・音声認識の黎明期から約30年にわたり技術開発の最先端で活躍し、市場を開拓

AI・音声認識の歩み

1950年代
人工知能という概念が誕生
音声認識の研究が始まる
アメリカのベル研究所が、数字音声認識システム「Audery」を発表

1960年代
IBMが世界初の音声認識計算機「Shoebox」を発表
京都大学が音声タイプライターを開発
MITのジョセフ・ワイゼンバウム博士が、人間と自然言語で対話可能なプログラム「ELIZA」を開発
インターネットの先駆けとなる軍事ネットワーク「ARPANET」が登場

1970年代
日本・ロシアで「DPマッチング法」が開発され単語の連続認識が可能に
テリー・ウィノグラード博士が、自然言語による命令を理解・実行するプログラム「SHRDLU」を開発
スタンフォード大学にて、実用レベルのエキスパートシステム「Mycin」が誕生
Apple II 発売。パソコンが普及し始める

1980年代
カーネギーメロン大学が「隠れマルコフモデル」を応用し、統計データに基づく音声認識を開発
日本の通商産業省が「第5世代コンピュータ」プロジェクトを開始
NECが日本初の音声ワープロ「VWP-100」を発売
マルチモーダルAIの研究が始動

1990年代
HMMと大規模音声データに基づく大語彙音声認識が確立
Microsoft Windows95にスピーチツールを導入。大衆向けPCの始まり

2000年代
Microsoft が AI アシスタント「Cortana（現：Microsoft Copilot）」の研究に着手

2010年代
音声認識にディープラーニング（深層学習）技術を実装
Apple がスマートフォンに Siri を搭載

深層学習時代の始まり
「End-to-End型」の音声認識の研究が開始
音声認識の要素技術として活用可能な、高精度かつ学習時間の短いニューラルネットワーク「Transformer」が登場

Apple、Amazon、Google が AI スピーカーを発表

2020年代
対話型AI「Chat GPT」が誕生

OpenAI が多言語の音声認識が可能なモデル「Whisper」を公開

「ChatGPT」が自然言語を用いた音声入力に対応

2026
データ枯渇の始まり

2045
シンギュラリティ（技術的特異点）

探索アルゴリズム
AI冬の時代
知識唯論
AI冬の時代
ビッグデータ
大規模言語モデル
現実世界へ

第1次AIブーム
第2次AIブーム
第3次AIブーム

1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2025 2030 2050

アドバンスト・メディアの歩み

1997 国内初の音声認識専業ベンダーとして、株式会社アドバンスト・メディアを東京都中央区に設立

1998 Interactive Systems, Inc.社（米国）と日本語音声認識システムAmiVoiceの共同開発を開始。同時にAmiVoiceをベースとした音声認識市場の構築事業に着手

2001 開発委託先である関連会社 Multimodal Technologies, Inc. 社（米国）設立。Interactive Systems, Inc. 社をMBOにより Multimodal Technologies, Inc. 社に吸収

2002 通信をベースとした分散型音声認識 AmiVoice DSR（Distributed Speech Recognition）を発表

2005 愛知万国博覧会に当社の対話技術を実装した4ヶ国語対応の受付案内ロボット（アクトロイド）を展示

東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場

2006 国際的な起業家表彰制度「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」の日本代表に代表取締役の鈴木清幸が選出

2008 タイ王国に子会社 AMIVOICE THAI CO., LTD. を設立
「音声入力メール」における音声認識技術が、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）主催の「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2008」を受賞

2009 AmiVoice 議事録作成支援システムが東京都議会の全常任委員会で導入
コンタクトセンター向け音声認識ソリューション「AmiVoice Communication Suite」をリリース

2011 医療向け音声入力システム「AmiVoice Ex7」をリリース

2013 ビジネス開発センター（大阪）を設立

2014 株式会社速記センターつくばを完全子会社化

2018 議事録作成支援サービス「ProVoXT」をリリース
医療向けAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice iNote」をリリース
福岡営業所を開設

2019 サンシャイン60に本社を移転
音声認識APIを提供する開発者向けボイステックプラットフォーム「AmiVoice Cloud Platform」をリリース

2020 豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定
名古屋営業所を開設
文字起こし支援アプリケーション「ScribeAssist」をリリース

2021 茨城県取手市議会・取手市と「音声テック関連技術連携協定」を締結

2023 建設業界に特化した人材サービスを展開する子会社、株式会社アミサポを設立

2024 議事録ソリューションプラットフォーム「VoXT One（ボクストワン）」をリリース
営業力強化ソリューションをシリーズ化した「AmiVoice SalesBoost」をリリース

2025 ハタラクエールにて「福利厚生推進法人」に認定

2026 音声認識ソフトウェア / クラウドサービス市場1位を獲得（合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」）
株式会社 feat を完全子会社化
建設業界向けプラットフォーム「AmiVoice B-Work One」をリリース
商談をリアルタイム支援する「AmiVoice SalesAgent」をリリース

Top Message

音声認識の市場開発から AI の市場開発へ

昨今の生成AIやAIエージェントの目覚ましい進化により、人がAIを積極的に活用しながら事業および自身の業務の継続や発展につなげていくAISH※1の時代の到来を感じられるようになってまいりました。

当社は、その時代を連れて来るために、人ひとりひとりが仕事の効率や効果を高め、快適に働ける環境AISHプラットフォームを世の中に広めてまいります。これは生成AIやAIエージェントとも連携でき、当社がこれまで培った<日本語×音声認識×業界特化>を強みとした音声AI※2の集合体です。当社で独自に開発したさまざまなAIを含んでおり、生成AIやAIエージェントの効能をパーソナライズ※3化により安全に引き出し利用することができるばかりでなく、それら自身を仕事の効率化や快適化につなげることができます。

また、企業のWebサイトとその来訪者とのコミュニケーションを可能とし、かつ、メッセージ伝達力の高い動画を活用することにより、リードの獲得率を高められる新たなサービスも同時に世に広めてまいります。これは、オウンドメディアたるWebサイトのメディア価値を先進的なメディア（アドバンストメディア）※4により高め、オンラインミーティングというインサイドセールスの起点を獲得するサービスでもあります。

当社は、これまでの音声認識の市場開発で培った企業体としての体力や知見・体験などを使い、いよいよ、世の中が必要とするAIの市場開発を音声AIとアドバンストメディアとにより促進する段階へと進んで参ります。



代表取締役会長兼社長
代表執行役員

鈴木 清幸

※1 AISH（アイッシュ:AI Super Humanization）とは、AIを利用することで仕事の効率や効果を高め、そして、AIを相棒にすることで仕事を楽しくすることをいいます。
※2 音声AIとは、人との音声コミュニケーションで動かすAIのことをいいます。これは、"声で動かす"（音声イネイブル）を前提としています。
※3 パーソナライズとは、利用企業や利用者個別の目的のために、所有する非公開データなどを使った学習やカスタマイズを行うことをいいます。これにより、安全に出力の品質や正確性を担保することができます。
※4 情報を伝える媒体であるメディアは、60年代のテレビから始まり、PCとインターネットのデジタルテクノロジーにより生み出されたデジタルメディアの世界で今まさに進化を遂げようとしています。それは、スマホとSNSにより生み出されたTiKTokやYouTubeのビジネスと同じような動画の活用によるものです。先進的なコミュニケーションの仕組みとメッセージ価値のある動画により、メッセージを伝える能力を進化させたWebサイト、あるいは、メッセージ価値のある動画のことをアドバンストメディアといいます。

Company Overview

さらに詳しい会社概要をご覧いただけます

会社名	株式会社アドバンスト・メディア
設立	1997年12月
資本金	69億3031万円（18,392,724株）（2026年3月末現在）
上場取引所	東京証券取引所グロース市場（証券コード:3773）
従業員数	連結 286名（単体 253名）（2026年3月末現在）
業務提携先	Solventum Health Information Systems,Inc.
役員	代表取締役会長兼社長　鈴木 清幸
	取締役副社長　立松 克己
	取締役　大柳 伸也
	取締役　近藤 裕
	取締役　枝連 俊弘
	社外取締役（監査等委員）　岸田 至康
	社外取締役（監査等委員）　松室 哲生
	社外取締役（監査等委員）　佐藤 香代
	社外取締役（監査等委員）　桜井 美佐
主要株主	LIM JAPAN EVENT MASTER FUND
	光1号配当特化投資事業有限責任組合
	アイビー投資事業有限責任組合
	（2026年3月末現在）
取得認証	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証番号：IS 816102
	プライバシーマーク付与事業者 登録番号：第10820562号
	労働者派遣事業者 許可番号：派13-306354
	有料職業紹介事業者 許可番号：13-ユ-317295

グループ会社

AMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）
音声認識技術 AmiVoice を用いたリアルタイム音声認識機能や、録音通話の全文文字化機能を、タイ現地のコールセンタに提供することにより、顧客満足度向上を促進してまいります。

株式会社速記センターつくば
主に地方自治体の議事録作成・支援をしております。今後は音声認識技術 AmiVoice と、これまで培ってきた書き起こしの技術を融合し、誰もが記録作成ができる環境を提供してまいります。

株式会社アミサポ
建設業界の業務効率化を支援するサービスを展開。AI 音声認識を応用したアプリケーションで仕上げ検査や配筋検査を、また議事録作成代行業務などを請け負う人材の提供を通して建設現場に貢献します。

株式会社 feat
15 年以上にわたり取り組んできた第三者検証を中心に、幅広い対応領域と確かな技術力でソフトウェア・ハードウェアの設計から開発、検証、技術サポートまで一貫して手がける、技術人材に特化した企業です。